

GOVERNOR'S **MONTHLY LETTER**

3

2010-2011
ガバナー月信



国際ロータリー第2510地区

2010-2011年度ガバナー

佐々木 正丞 MASATSUGU SASAKI

〒060-0042

札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512

E-mail : rid2510@nifty.com

<http://www.ri2510.gr.jp>

2010-2011年度
国際ロータリーテーマ

「地域を育み、大陸をつなぐ」
Building Communities Bridging Continents



国際ロータリー第2510地区 2010-2011年度



- I クラブの活性化、会員増強に向けて、CLPの導入検討をしよう
- II 地域ニーズを踏まえて、地域密着の奉仕活動を実践しよう
- III ロータリー財団の理解を深めて協力支援をしよう
「毎年一人100ドル」を協力しよう



ガバナーメッセージ「CLP導入における」	1
2011年国際協議会に参加して	2
第5回「5分でできるウェブページ作成」講習会	3
CLP導入の現状とクラブ活性化計画	4
GSE派遣チームメンバー推薦のお願い	6
室蘭東RC創立50周年記念式典開催報告	8
RI第3700地区(韓国、大邱地域)・地区大会のご案内	9
JGFR各大会のご案内	10
ロータリー財団寄付、米山寄付/クラブ事務所移転等のお知らせ/ 2010年手続要覧は届いておりますか?	11
新入会員のご紹介/訃報/文庫通信	12
地区カレンダー(3月・4月)	13
出席率・会員数	14



CLP導入にむけて

国際ロータリー第2510地区

2010-2011年度 ガバナー **佐々木正丞**

(札幌RC)

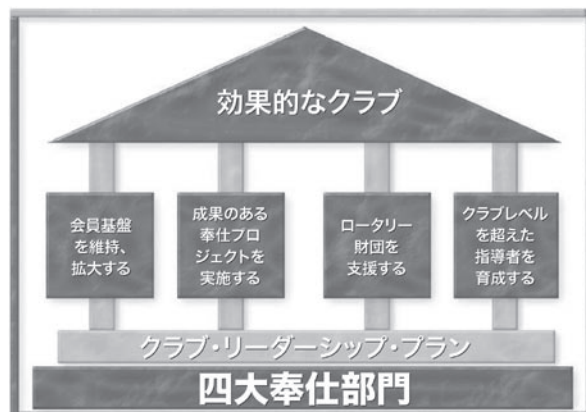
CLP（略称）がRI理事会で承認され、新たに推奨クラブ細則となったのは、今から6年少々前の2004年11月のことでもあります。もっともDLPはそれより早く、色々な経過を辿って2002年2月にはロータリー一章典に明文化され、義務化されております。

ロータリーがポール・ハリス等4名によってシカゴで産声をあげてから100年に近づく頃から、改革の声は様々な方面から上がっておりましたが、ロータリーがもっとも顕著に世界的なテーマに乗り出したのは、ポリオとの戦いであり、これ1本に殆ど絞ったと言っても過言ではありません。なお、日本人の力が大きく影響を及ぼしたということは12月号の月信に述べた通りであります。

次に改革の議論を収斂させたのが、先述のいわゆるクラブ・リーダーシップ・プランであります。

今日、ロータリーの文書・書籍は全てCLPを前提として記述されていますので、我が地区がこれに周回遅れになっておりますのは、甚だ気がかりなところであります。私はこのことを公式訪問で全ロータリアンに訴えましたが、当初の頃から見ますと反応は非常に前向きになって参りました。

私はCLPの具体的な形については殆ど話しませんでした。強調したのはCLP導入検討プロジェクトチームを地区に設置しましたので、ここと連携をとって下さいということと、力を込めて言ったのは「何故、今、CLPか」ということでありました。ロータリーは100年も経つがこの間、RIが手を加えたのは弥縫策とでもいふべきことだけでした。我が国日本ではこのところ、ロータリーの勢いは急落しております。経済力や人口の減少だけでは説明のできない萎縮、凋落ぶりです。何故でしょうか？ CLPによってクラブの活動（ロータリー活動 イコール クラブ活動）をどのように建て直すか、どう活を入れるか。このことを議論することこそが正に今、私の言うCLP活動であります。それは、誰の命令でもない、誰にも拘束されない、自らのリーダーシップによって取り組むべきものであります。RIの資料に傘をかぶった4つの箱（管理運営の組織図）があります。そもそもこの箱が我が国のように原理的に古来からの伝統的なロータリーの奉仕哲学を尊重するロータリアンにとっては、誤解を生み、不可解な疑念を与えることになったのも当然でありましょう。RIは、哲学は勿論重んじます。多くの人の意見に絶えず気を配ります。あの箱は、ロータリアン何千人からアンケートをとって「消滅したクラブ、弱いクラブ」の原因は何か、を調べたときの中味なのであります。皆様のクラブに「自分のクラブにはその問題はない」とおっしゃればそれは無用のものであります。



日本で、いや当2510地区ではCLPの考え方が普及しなかったのは、「誤解」が大きな原因と考えております。箱の話が先にくるのではありません。職業人の代表者組織の頭の中に職業奉仕が抜けている筈がありません。次回では、「そもそも」のところからお話を申し上げたいと思います。



2011年国際協議会に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **熊澤隆樹**
(小樽RC)

いろいろな思いを抱き、1月15日から24日の日程で、サンディエゴの国際協議会に参加してまいりました。73カ国、532地区のガバナーと配偶者、RI関係者、研修リーダー（日本からは3名）、そしてSAAを含めると1,300人を超える集まりでした。今年は幸いにも天候に恵まれ、連日20度を超え、雪に閉ざされた北海道とは別世界にいるようでしたが、研修の方は大変厳しいものでした。朝6時のモーニングコールで始まり、就寝は毎日11時というタイムスケジュールが5日間あり、我々日本から参加された34地区のガバナーの平均年齢68歳を超えている状況の中で、幸いにも一人の脱落者もなく無事研修を終えることができました。

さて、本会議の冒頭に、カルヤン・バネルジーRI会長エレクトより、入り口に掲げられた「入りて学べ」という言葉通り、謙虚な気持ちで、私たちが共に達成すべきことを明確に描きながら共に経験することは忘れることのない意義深いものとなるでしょうという挨拶から始まりました。最後に、ある小説の一節を取り上げ、「戦争で勝利をもたらすのは武器だという人に対して、勝利を決めるのは、兵士一人ひとりの中にある気持ちだ」と紹介し、ロータリアンとは、ロータリーとは、まさに皆さまの中の気持ち、ある人間の中にある気持ち、私たちの中にある気持ちであることを伝えたかったと、『こころの中を見つめよう、博愛を広げるために』のテーマを掲げたことを紹介されました。非常に哲学的なテーマではありますが、この言葉を胸に一年間を送りたいと思っております。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

その後、講演は20近く、パネル討論は日本の参加者が二つのグループに分かれて、連日メンバーが代えられ、一時間半に及ぶ研修リーダーの許での討論が行われました。その話し合いの中で他地区の運営の状況を垣間見ることが出来、非常に勉強になりました。そうした中で、国際祭りの夕べでは、日本のガバナーエレクト夫人達が、沖縄の民族衣装を身につけてのわずか3分間でしたが、見事に踊りきったのは、良き思い出となりました。また、国際親善晩餐舞踏会では、日本の方々も楽しく仲良く、各国の方々との交流が行われたことを付け加えさせていただきます。



友好地区RI第3700地区
ガバナーエレクト夫妻と共に



国際祭りの夕べの一コマ
沖縄の踊り Kachachi



グループ討論の一コマ



第5回「5分でできるウェブページ作成」講習会

地区IC委員会

委員長 **堀江和美**

(砂川IC)

「5分でできるウェブページ作成」講習会が、平成23年1月22日(土)、午後1時30分より、札幌市学習センター“ちえりあ”で開催されました。今回で5回目となります。

1. クラブ(地区委員会)のウェブページ(一般にホームページといわれている)を作りたいがどうしたら良いかわからない。
2. 公開するにはどれくらい費用がかかるのか不安。
3. 専門知識やソフトが必要かもしれない。
4. 更新していくために専門知識のあるメンバーが必要?

こんな不安を取り除くために、ウェブページ作成のためのひな型を用意し、1) サイト名の入力(例: ○○ロータリー・クラブ)、2) サイトの説明(例: 当クラブは第2510地区第1グループに所属しています。) 3) 例会場・事務所情報(例: 毎週水曜日12:30)、4) トップに表示される紹介(例: 年度の会長方針)などを入力することにより、ウェブサイトが出来上がるものです。その後は、メールを打つ感覚で更新していくことができるようにしたものです。

講習会は1) ひな型に入力するステージと2) 記事の投稿方法や記事の中に画像やpdfを挿入する方法について学ぶステージを2時間かけて行いました。

「5分で・・・」とあるのに、2時間もかけるのですから、「看板に偽りあり」と言われてもしょうがありませんが、実は、1) ひな型に入力するステージで実際に入力しているのが、5分間以内なのです。

今回受講された方々のスキルが高かったせいと思われるのですが、2時間かけても、「疲れたあー」、「サギだ」とは一人からも出ませんでしたので、「ほっと」しているところです。

5回の講習会を通して、約40クラブ・地区委員会の方々に受講していただきましたが、残念ながら、新規にウェブページを開設していただいたのは、5つのクラブ・委員会にとどまっています。

そこで、クラブのIT化向上のために、ICT (Information and Communication Technology) に限定したメーリングリスト(登録はhttp://rid2510.org/ict/?page_id=6)やウェブサイト(URL: <http://rid2510.org/ict/>)を新設し、会員相互のコミュニケーションを増大していきたいと考えています。

どうぞ、会員皆様のご支援・ご協力をお願いします。





CLP導入の現状とクラブ活性化計画

地区クラブ奉仕委員会

委員長 **川岸 洋一**

(伊達RC)

佐々木ガバナーは本年度の地区目標のひとつに、「クラブの活性化、会員増強等に向けて、CLPの導入検討をしよう」を掲げました。

当地区のクラブはCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）導入に消極的といわれてきていました。

しかし、当地区内の各クラブが、CLPに対してどのような印象を持っているのか、又、どの程度導入しているのかを調査した記録はほとんどありません。

そこで、その実態を掌握するために、昨年9月から12月にかけて、ファクシミリによる簡易な意向調査「CLPに関するアンケート調査」を実施したところ、ほぼすべてのクラブから回答を得ることができました。**調査結果は当地区のホームページに掲載予定**ですが、本文はその要約版です。

調査の中で「CLPを導入しており、委員会構成・細則を変更している」と答えたクラブに対し、委員会構成のわかる細則またはその資料の提出依頼をしたが、入手できた資料が少なかったため、2009-10年度に地区からの要請に協力して頂いたクラブのデータにより補足し、11クラブの回答としています。

1. 「現在、導入の予定はない」との回答について

- ・回答72クラブ中27クラブ（38%）ですが、「現在、導入の予定はない」の回答が、過去8年間の会員減少が小さいか、又は増加しているクラブに多いことから、～会員減少になっていないなら現状のままが良い～と思われることが想定されます。

2. 「導入を検討している」との回答について

- ・回答72クラブ中24クラブ、33%ですが、「現在、特別委員会等を設置して検討している」は2クラブのみであり、13クラブが「今年度内に導入検討委員会等の設置を予定」と答えています。今後どのような検討が行われているか注目しています。

3. 「すでに導入している」との回答について

- ・回答72クラブ中21クラブ、29%です。
- ・21クラブ中、「目標設定し、長期計画策定」が11クラブ、「長期計画と合致した単年度の年間計画策定」が7クラブであり、長期・短期計画共策定は、7クラブですので長期計画はあるが単年度計画のないクラブが4クラブあることとなります。
- ・また、継続して長期計画を遂行していくには、指導者の継続性確保が必要になりますが、「指導者の継続性確保」は7クラブありましたが、「長期計画を策定すると共に指導者の継続性を確保」のあったクラブは、そのうち3クラブだけでした。
- ・「計画を共有化するためのクラブ協議会の開催」は、各役員・各会員が問題意識を喚起するための有効な手段ですが、すでに導入していると答えたのは21クラブ中9クラブでした。
- ・「計画達成に適した委員会構成と細則の変更」は、21クラブ中17クラブの回答がありました。

長期・短期の活性化計画はまだ策定していないが、委員会構成と細則を変更したクラブが8クラブあります。まず計画を策定しその計画に適した組織（委員会）にすることがCLPの基本ですが、CLP＝委員会構成と誤解した結果ではないかと思われる。

・変更した委員会構成については、次のように分類できます。

◎推奨クラブ細則に基づく5常任委員会をベースにするものが、会員17～34人の4クラブ

◎四大奉仕または五大奉仕をベースにするものが、会員31～43人の4クラブ

◎クラブ奉仕（クラブ内奉仕）と奉仕プロジェクト（クラブ外奉仕）の2委員会又はR財団を加えた3委員会を主にするものが、会員74人の2クラブ

このアンケート結果に限れば当地区のクラブは、「会員数が少ないクラブは推奨クラブ細則に基づく5常任委員会を主にし、会員数が概ね平均以上のクラブは**四大奉仕をベースに**、推奨クラブ細則の**5常任委員会制の精神**を小委員会で生かしたい」というのが特徴と言えるようです。

今回のこの調査結果で、特に細部項目やいただいたコメントから見て、導入予定なしのクラブもすでに導入しているクラブも「CLPに対して各クラブで認識の相違がある」という思いが生じました。

それは「**CLPは手段、目的はクラブの活性化であり、会員増強はクラブ活性化の成果による**」という認識が各クラブで統一されていないことです。

活力あるクラブを望まないクラブはないでしょう。しかしながら、今現在のクラブに対する評価にもよりますが、「いかなる組織も、時間の経過と共に硬直化する」ということは明らかです。

CLPをマニュアルそのままではなければならないという考えではなく、**いいところ取り**しながら、各クラブで大いに議論し、各クラブの実状に合った活性化計画の策定が現実的だと思います。

では、実際にはどのように活性化計画を進めたら良いのでしょうか。最もわかりにくいのは最初の部分「長期目標の設定」までだと思いますので、他地区の複数クラブで行った事例を紹介します。

1. クラブ活力の現状と会員のクラブに対する意識調査及びその分析
2. クラブの理想の姿を想定
3. クラブの長期目標の設定

1. のクラブ活力の現状と会員のクラブに対する意識調査については、『クラブ活力テスト』と『会員満足度アンケート』という2つのツールがあります。

『クラブ活力テスト』は、2005-06年度R1第2840地区（群馬県）のロータリー21世紀委員会が作成したものであり、クラブの現状を簡便に自己診断するツールです。クラブ指導者を対象としており、活用の手引もありますので、まず、テストしてみることをお勧めします。

『会員満足度アンケート』は、R1発行の「会員増強推進用手引き」に掲載されているものを、一部改編したものです。会員がクラブをどう見ているかを客観的に判断する場合に適した調査だと思いますので、試してみる価値があります。調査対象者はできるだけ会員全員とします。

2. のクラブの理想の姿を想定は、クラブにとっての理想の姿と、クラブを構成する会員のあるべき姿を列記する工程です。「ロータリークラブの理想」を追求することは、ロータリーの奉仕や親睦とは？ロータリーにおける職業奉仕とは？……というロータリーの根源を見つめることにもなるはずですし、その地域において、クラブと会員が何をすべきかが見えてくるはずです。

大いに議論し、「あなたのロータリークラブの理想」を見出して下さい。

3. のクラブの長期目標の設定は、「クラブ活力テスト」と「会員満足度アンケート」の分析結果とクラブの理想の姿を対比して見ることによって、目標とすべき計画の項目が見えてくるはずです。

～活性化計画とは、「現状のクラブ」と「理想のクラブ」のギャップを埋める道筋です。～

『クラブ活力テスト』と『会員満足度アンケート』を含む活性化計画策定の事例等は、当地区ホームページに掲載予定ですので、ご利用ください。

GSE派遣チームメンバー推薦のお願い 国際ロータリー第1840地区への派遣

地区ロータリー財団委員長 **岩城 秀晴** (札幌南RC・PG)

地区GSE委員長 **沼舘 栞** (札幌清田RC)

皆様には、平素よりロータリー財団の事業に御支援と御協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、次年度における当地区GSEプログラムの対象地区として、ドイツはバイエルン州ミュンヘンを中心とした国際ロータリー第1840地区と決定し、GSE派遣チームリーダーには札幌東ロータリークラブの矢橋潤一郎会員が決定致しました。今回は相手地区の特性を鑑み、我が地区からはスポーツ・芸術を通じて青少年の育成に関わる職業、もしくはモノづくりに関わる職業に携わる若手職業人を派遣することとしております。

プログラムの内容及び募集要領は下記の通りですので、貴クラブの会員の皆様に紹介して頂き、GSE派遣メンバーのご推薦を頂きたくお願い申し上げます。

また一般からのGSE派遣メンバー希望が貴クラブに寄せられた場合は、是非貴クラブより御推薦頂きGSE委員会にご紹介頂きます様お願い申し上げます。

1. GSE (Group Study Exchange) とは

ロータリー財団の研究グループ交換 (GSE) プログラムは、地区内の若い職業人を海外に派遣し、そこでの生活体験を通じて職業、文化、親善などの様々な分野の国際理解を促すとともに、そこで得た体験を広く地域社会に還元できるよう支援するものです。

2. GSEプログラムの内容

職場訪問

訪問地区の、周到に計画された受入れプログラムに職業人として参加し、各GSE派遣団員の専門に応じて個別に職場を訪問し、意見を交換しながら、他国におけるそれぞれの職業の実践状況を研究・調査します。

文化体験

訪問地区では原則としてロータリアンの家にホームステイして地域住民との交流や文化施設の見学などを通じて生活様式、地域文化、国民性などを学び、世界の多様な文化について理解を深めます。これはホテルに宿泊することでは経験出来ない、本物の文化体験をすることになります。

友好・親善

派遣団員と受け入れ地区のロータリアンが友好と善意の精神のもとに意見を交わし、また受入れ家族と生活をともにしながら互いが持っている問題や将来についての抱負を語り合い、永続的な友情と相互理解を深めます。これら有意義な異文化体験は最終的には派遣と受入れ両地区社会に広く貢献することになります。

3. 費用

渡航費と滞在費はロータリー財団が支出するので本人の負担はありません。

4. 派遣先

ドイツ第3の都市ミュンヘンを中心としたバイエルン州にある国際ロータリー第1840地区へ30日間派遣されます。

5. 派遣時期

国際ロータリー第1840地区へのGSEチーム派遣は2012年4月28日から2012年5月27日迄の30日間を予定しています。また、これに関連してドイツ・チームの日本への来訪は2011年9月29日頃より10月29日までの約30日間を予定しております。

6. 募集人員と応募資格

募集する派遣団員は4名です。年齢はロータリー財団への正式な申請時25歳以上40歳未満の人に限り、性別、学歴、問いませんが、下記の募集要項を満たし派遣帰国後も同一職業に従事される方とします。

7. 募集要項

- 1) 現在、国際ロータリー第2510地区内に居住し、応募の時点で正社員として、スポーツ・芸術を通じて青少年の育成に関わる職業もしくはモノづくりに関わる職業に(社会奉仕も含む)3年以上従事している人

- 2) 所属団体や職場から30日間の海外研修に参加する事を了解して貰える人
- 3) ドイツとの国際交流に強い関心を持ち、協調的に行動できる人
- 4) 海外生活に順応でき、健康に自信のある人
- 5) 英会話に堪能なことを必ずしも必要としませんが、英語の基礎的な理解力を持ち、異文化体験に意欲的な人（ドイツ語堪能なら尚可）
- 6) ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ロータリアンの子弟、孫、及び退会后3年未満の元ロータリアンは資格がありません。また、外国での生活体験の豊富な人でない方を優先します。

8. 応募方法

所定の推薦書に必要事項を記入し400字2～3枚以内で（自分の職業について思う事）と言う題で小論文を添え、最寄りのロータリークラブを経由して下記あてに提出してください。

（小論文についてはメールアドレス ishimaru@sc-ltd.co.jp 迄wordの文章でお送り下さい）

「募集締切日 2011年3月31日（木）必着」 （小論文も3月31日迄に提出必要）

9. 選考と決定

参加希望者に提出して頂いた小論文にて審査をし、論文審査後、審査合格者は地区ガバナー及び地区役員とGSE関係者等により2011年4月24日に面接試験を行い（その折簡単な英会話での受け答えもあります）同月末までに決定します。

10. その他

応募資格や応募に関する質問は地区GSE委員会にお問い合わせください。またGSEプログラムについての詳細は地区GSEホームページ (<http://www.ri2510.gr.jp/gse/>) をご参照ください。

前回の派遣活動についてはサイトでブログ (<http://ri2510.org/gse/>) をご覧になれます。

11. スポンサーロータリークラブを通しての応募書類の提出先（推薦書は郵送にて）

宛先： 〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目大通藤井ビル7階 地区ガバナー事務所内
国際ロータリー第2510地区GSE委員会宛

GSE派遣チームリーダー決定について

昨年12月のチームリーダー選考委員会において、国際ロータリー第1840地区（ドイツ・ミュンヘン）へのGSE派遣チームリーダーが決定したことを報告致します。

■ 派遣チームリーダー



矢橋 潤一郎
1968年6月9日（42歳）
札幌東ロータリークラブ

■ 略 歴

1994年 大阪市立大学 経済学部 卒業
(株)朝日新聞社 入社
1999年 北海道大学大学院農学研究科
農業工学専攻修士課程 修了
北海航測(株) 入社
2003年 同社 代表取締役社長就任

■ ロータリー歴

1986-87年 青少年交換学生
(札幌西RCスポンサー/豪州)
1990-94年 大阪住吉ローターアクトクラブ
1994-96年 東京中央ローターアクトクラブ
1996-98年 札幌北ローターアクトクラブ
(札幌北RC提唱)
1999年 札幌東ロータリークラブ入会
2000-02年 地区ローターアクト委員
2001-02年 米山奨学生カウンセラー
2002-03年 地区インターアクト年次大会 実行委員長
2003-05年 受入・派遣学生カウンセラー
2005-06年 地区幹事
2005-08年 地区GSE委員
2008-10年 地区国際親善奨学金委員
2010-11年 クラブ幹事
地区国際親善奨学金委員長

創立50周年を迎えました

室蘭東ロータリークラブ

室蘭東RCは、昭和36年1月25日室蘭RCをスポンサークラブとして、室蘭輪西地区に30名の会員のもと創立され今年50周年を迎えました。ピーク時には会員数も71名となりましたが、現在は40名にまで減少したものの諸活動は益々活発に行っています。この間、当クラブを親クラブとして昭和44年に登別RC、昭和46年には室蘭北RCの誕生を得ました。

この度「ありがとう50年・そして明日へ・・・」をコンセプトに1月29日（土）に開催しました50周年の記念大会では、国際ロータリー第2510地区佐々木正丞ガバナー、同遠藤秀雄パストガバナー、同第9グループ菅俊治ガバナー補佐を迎え、新宮正志室蘭市長を含めたご来賓の方や多くの近隣ロータリークラブのメンバーのご出席を頂き盛大に開催されました。

第一部の特別記念講演には我が街そして北海道から初の総理大臣になられた鳩山由紀夫代議士をお迎えし「友愛と奉仕の精神」と題し講演を頂きましたが、それこそロータリーの原点を考えさせられた素晴らしい1時間の講演でした。



続いて行われた室蘭市立鶴ヶ崎中学校ジャズバンド部による演奏は、3年生が抜けた11名の少人数の演奏でしたが会場いっぱいに響き渡った迫力あるジャズの響きに全員堪能させていただきました。

遊佐会長の点鐘で始まった第二部の記念式典では「国歌」と「奉仕の理想」を斉唱の後、ご来賓の紹介へと進み、この10年に亡くなられた6名の会員へ黙祷を捧げました。

そして芝垣大会実行委員長の挨拶に始まり、創立50周年の各記念事業紹介、そして米山、財団への創立記念特別寄付などの発表を行い、当クラブ功労者への感謝状も贈呈しました。

締め括りには、ガバナー、市長そして親クラブ会長からの祝辞の後閉会点鐘をもって祝賀会へ移行しました。

第三部の祝賀会では、当クラブ会長挨拶に続いてご来賓各位による鏡開き、パストガバナーによる祝杯で祝賀会が始まって会話もはずみ、用意された50本のローソクの点ったバースデーケーキは当クラブ古参会員が一気に炎を吹き消し喝采をあげました。中でも当クラブ会員8名が完全変装によって披露した5分間のフレンチカンカン踊りは、練習を積み重ねた成果を見事に発揮してくれました。

締め乾杯のあと、参加者が会場いっぱい輪になり「手に手つないで」で名残惜しい祝賀会も終了しました。

最後になりますが「50周年記念誌」は本年6月の発行にむけて歴史の掘り起こしを行い、編集作業を進めます。これからも「そして明日へ・・・」をモットーにロータリアンとしてロータリー精神を胸に活動して参ります。



RI第3700地区(韓国、大邱地域)・地区大会のご案内

当地区と韓国のRI第3700地区とは、2004年に姉妹締結を結び、文化交流、親善の促進等を行っており、その一環として相互の地区大会に出席をして友好親善を深めて参りました。

昨年10月に開催しました当地区の地区大会には、李総裁を始め総勢34名のロータリアンが出席され、我が地区内の福祉施設等を訪問されて奉仕活動を実践されたところであります。

つきましては目下、この4月15・16日に開催されますRI第3700地区大会に当地区からも表敬訪問し友好親善を果たすべく計画を立案中であります。

なお、当大会のRI会長代理として、2012-13年度の国際ロータリー会長に就任されます田中作次RI元理事が出席されますので、応援する意味でも多数のご参加を宜しくお願い申し上げます。

釜山・慶州・大邱・ソウル 4日間

旅行代金：約14万円弱(含空港税・燃料チャージ・通訳代)

日次	月日	都市名	発着	現地時間	交通機関	スケジュール	食事		
							朝	昼	夜
1	4/14 (木)	新千歳空港 釜山空港 ホテル	発着 着	10:30頃 12:35 15:15	KE772 専用車 ガイド付	新千歳空港国際線出発ロビー集合 出国手続後、大韓航空にて直行便にて釜山へ 到着後、入国手続を済ませ、プサン市内の簡単な 観光、龍頭山公園など 海鮮料理の夕食後、ホテルへ 〈宿泊ホテル 釜山ロッテホテル〉	—	機 内	レストラン(海鮮料理)
2	4/15 (金)	ホテル 慶州 大邱 ホテル	発着 着	午前 午後 夕方	専用車 ガイド付	慶州へ(約1時間) 市内観光 石窟庵・仏国寺・天馬塚など 昼食は市内レストランにて、石焼ビビンバ 観光後、テグへ移動(約1時間強) 到着後、ホテルへ インタープルゴにてレセプションに参加します 〈宿泊ホテル インタープルゴ テグ〉	ホテル	レストラン(石焼ビビンバ)	レセプション
3	4/16 (土)	ホテル 会場 東大邱駅 ソウル	発着 着	08:30 13:00頃 14:10頃 15:52 18:00	専用車 ガイド付 専用車 KTX 専用車 ガイド付	ホテルにて朝食 EXCO会場へ出発 EXCO会場にて会議 9:30開始 EXCO会場を出発し東大邱駅へ KTX特室(1等)にてソウルへ(所要1時間46分) 到着後、ホテルにチェックイン 夕食は別途ご用意いたします(個人負担) 〈宿泊ホテル グランドアンバサダーソウル〉	ホテル	—	—
4	4/17 (日)	ホテル 仁川空港 新千歳空港	発着 着	09:00 15:00 17:45 20:30	専用車 ガイド付 KE795	ホテルにて朝食 ガイドと共に市内観光(南山ソウルタワー・ 景福宮・北村韓屋村・桜の名所 汝矣島) 昼食は市内レストランでサムゲタン 昼食、ショッピングの後、仁川空港へ向います 出国手続後、大韓航空にて新千歳空港へ 入国手続後、解散 お疲れ様でした	ホテル	レストラン(サムゲタン)	機 内

※諸事情により上記フライトスケジュールや行程内容は変更される場合がございます。

お問合せ・お申込み先 ガバナー事務所までお願い致します。(お申込締切日：3月31日)



JGFR各大会のご案内

寒さ厳しい中、会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
本道では大雪の様ですが、南の方からゴルフ大会のご案内がございましたので、ご案内申し上げます。

実 施 要 項

<沖縄大会>

- ◎大会日時 平成23年3月14日(月) 午前8時スタート
- ◎大会会場 琉球ゴルフ倶楽部 所在地：〒901-0608 沖縄県南城市玉城親慶原1
TEL(098)948-2460 FAX(098)949-7573
- ◎参加資格 全国のロータリアン及配偶者ならびにゲスト
- ◎競技方法 18ホールストロークプレイ(新ペリア方式)
- ◎登録費 15,000円(賞品代、懇親会費)
- ◎プレー費 14,800円

第22回JGFR沖縄大会についてのお問合わせ

〒900-8602 沖縄県那覇市松尾1-2-3
沖縄ツアーリスト(株)コンベンション部
大会事務局受付 事務局長：崎原信一(那覇西RC)
担 当：玉城 大
TEL：(098)863-6585 FAX：(098)869-1774

<大洗大会>

- ◎大会日時 平成23年4月18日(月) 午前7時30分スタート
- ◎大会会場 大洗ゴルフ倶楽部 所在地：〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜8231-1
TEL(029)266-1234 FAX(029)266-1232
- ◎参加資格 全国のロータリアン及配偶者ならびにゲスト
- ◎競技方法 18ホールストロークプレイ(新ペリア方式)
- ◎登録費 12,000円(賞品代、懇親会費)
- ◎プレー費 18,000円

第1回JGFR大洗大会についてのお問合わせ

〒310-0015 茨城県水戸市宮町2-4-33 小林ビル
近畿日本ツアーリスト 担当：遠藤 康弘
TEL：(029)225-1015 FAX：(029)231-7841

◇第21回JGFR北海道大会のご案内◇

- ◎大会日時 平成23年6月20日(月) 午前7時30分スタート(予定)
- ◎大会会場 恵庭カントリー倶楽部 所在地：北海道恵庭市盤尻53番地2
TEL(0123)33-0001 FAX(0123)33-0003

※細部については検討中で、決定次第ご案内書を送付致しますので、多くの道内のロータリークラブ会員
及ご家族の方のご参加をお願い致します。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

長万部RC 赤塚 章 会員 (1回) 12月24日

◆ポール・ハリス・フェロー

札幌RC 小山 司 会員 1月21日

札幌RC 栗林 昌弘 会員 1月21日

札幌RC 中田 隆博 会員 1月21日

岩内RC 吉田 栄治 会員 1月28日

千歳セントラルRC 鈴木 昭廣 会員 1月28日

長万部RC 井上 正範 会員 12月24日

長万部RC 角 健 会員 12月24日

函館北RC 山下 清司 会員 12月10日

函館セントラルRC 浅野 翼 会員 12月30日(訂正)

※2月号でマルチプル・ポール・ハリス・フェローとご紹介しましたがポール・ハリス・フェローに訂正させて載せます。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者

赤平RC 宮川 徹 会員 (2回) 1月21日

砂川RC 山田 賢司 会員 (1回) 1月31日

砂川RC 吉川 富雄 会員 (1回) 1月31日

札幌RC 小山 司 会員 (1回) 1月18日

◆米山功労クラブ

砂川RC 13回 1月31日

クラブ事務所移転のお知らせ

余市RCの事務所が下記に移転致しましたのでお知らせ致します。

新住所：〒046-0003 余市郡余市町黒川町4-93 (株)毛利印刷内

電話 0135-21-4171 FAX 0135-21-4172

※電話番号、FAX番号は従来通り変更ございません。

クラブ幹事の連絡先変更のお知らせ

北斗RCの米塚弘悦幹事の勤務先が下記に変更になりましたのでお知らせ致します。

新住所：〒041-0822 函館市亀田港町39番1号

電話 0138-41-0955 FAX 0138-41-0885

2010年手続要覧は届いておりますか？

手続要覧は、ロータリーの奉仕活動に密接に関連するRIの方針や手続を簡潔でわかりやすく解説することによって、ロータリー・クラブと地区のリーダーがロータリーについて理解できるよう助けます。「手続要覧」は国際大会、規定審議会、RI理事会、ならびにロータリー財団管理委員会により採択された方針や手続をまとめたものです。

RI細則はRIに加盟した各クラブが標準ロータリー・クラブ定款を採択することを規定しています。推奨ロータリー・クラブ細則は、標準ロータリー・クラブ定款と調和したものでなければなりません。国際ロータリーは推奨クラブ細則を提供していますが、クラブは標準ロータリー・クラブ定款、RI定款、RI細則と矛盾しない限りにおいて、クラブのそれぞれの状況に合わせて修正を加えることができます。新しい手続要覧により標準ロータリー・クラブ定款、推奨ロータリー・クラブ細則を見直して下さい。

手続要覧の購入申込み先：日本事務局資料室 (1冊8ドル)

新入会員のご紹介

(敬称略)



伊達RC
舘崎 雄二
1月18日入会
信用金庫



岩内RC
川崎 孝之
1月20日入会
薬剤師



岩内RC
進藤 年且
1月20日入会
建築材料販売



江別RC
久保 泰雄
1月27日入会
商工会議所



千歳RC
田中 敬二
2月3日入会
信用金庫



千歳セントラルRC
古木 克紀
2月8日入会
各種商品小売業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



土谷 茂樹 名誉会員 (江別西RC)

2011年1月20日逝去 (享年81歳)

【ロータリー歴】

1968年3月	江別クラブ入会	1992年4月28日	江別西クラブ チャーターメンバー
1973~74年度	江別クラブ会長	1992~93年度	江別西クラブ会長
1975~76年度	分区代理	1993~97年度	地区職業奉仕委員長
1976~77年度	地区国際交換学生委員	2004~05年度	ガバナー補佐
1985~86年度	R財団GSE委員	2008年7月より	名誉会員
1986~87年度	地区職業奉仕委員		
1989~91年度	米山記念奨学会委員長		

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル

文庫通信



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念誌より

◎ 「RI会長代理挨拶・RI現況報告」	ビチャイ・ラタクル	2010	7p (D.2660)
◎ 「“THE POWER OF ONE” のいわれ」	渡辺好政	2010	3p (D.2500)
◎ 「クラブを活性化し、未来への夢を持とう! (RI長期計画とクラブ活性化)」	南園義一	2010	22p (D.2780)
◎ 「水・保健と飢餓・識字率向上の青森県版を作ろう」	黒田正宏	2010	6p (D.2830)
◎ 「ロータリーの目指すもの」	藤川享胤	[2010]	9p (D.2550)
◎ 「地区リーダーの皆様へ」	山本茂生	2010	5p (D.2690)
◎ 「中国の教育現場でロータリーの精神を」	金 美林	2010	5p (D.2640)
◎ 「日韓によせるロータリーの希(ねが)い」	崔 相龍	2010	5p (D.2780)

上記申込先：ロータリー文庫 [コピー/PDF]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



地区カレンダー（3月・4月）

3月 識字率向上月間		4月 ローターリー雑誌月間	
1 (火)		1 (金)	
2 (水)		2 (土)	
3 (木)		3 (日)	
4 (金)		4 (月)	
5 (土)		5 (火)	
6 (日)	第7グループIM (長沼)	6 (水)	
7 (月)		7 (木)	
8 (火)		8 (金)	
9 (水)		9 (土)	
10(木)		10(日)	2011-12年度地区協議会 (小樽)
11(金)		11(月)	
12(土)	2011年3月終了米山奨学生歓送会 (札幌) 2011-12年度会長エレクト研修セミナー (小樽) 2010-11年度CLP導入推進セミナー (小樽)	12(火)	
13(日)	2011-12年度会長エレクト研修セミナー (小樽) 2011-12年度財団・米山セミナー (小樽)	13(水)	
14(月)		14(木)	
15(火)		15(金)	2012-13年度国際親善奨学生応募締切り 韓国第3700地区大会 (大邱)
16(水)		16(土)	韓国第3700地区大会 (大邱) 第6グループIM (倶知安) 2011学年度米山奨学生オリエンテーション他 (札幌)
17(木)		17(日)	
18(金)		18(月)	
19(土)	第4・第5グループ合同IM (札幌) 青少年交換学生春季キャンプ	19(火)	
20(日)		20(水)	
21(月)	春分の日	21(木)	
22(火)		22(金)	
23(水)	札幌あけぼのRC創立20周年記念式典 (札幌)	23(土)	
24(木)		24(日)	
25(金)		25(月)	
26(土)		26(火)	
27(日)		27(水)	
28(月)		28(木)	
29(火)		29(金)	昭和の日
30(水)		30(土)	
31(木)			

2011年3月のロータリーレート 1ドル84円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2010.7.1	2011.1.31	増減	内女性	
1	深川	3	33	33	0	1	87.26
	羽幌	4	49	51	2	1	84.70
	妹背牛	3	8	10	2	0	100.00
	小平	4	11	9	-2	0	41.67
	留萌	4	43	44	1	3	79.84
	小計			144	147	3	5
2	赤平	3	31	31	0	0	81.10
	芦別	4	37	37	0	0	83.57
	砂川	4	51	51	0	0	97.56
	滝川	4	91	95	4	2	75.00
	小計			210	214	4	2
3	美唄	4	35	36	1	0	86.12
	江別	4	32	31	-1	2	81.78
	江別西	3	25	26	1	3	96.20
	岩見沢	3	81	82	1	0	87.20
	岩見沢東	3	27	28	1	4	87.57
	栗沢	3	23	23	0	1	91.30
	栗山	4	25	29	4	2	96.26
	当別	3	30	30	0	0	87.48
	小計			278	285	7	12
4	札幌	3	115	130	15	0	98.11
	札幌あけぼの	4	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	3	18	18	0	4	85.52
	札幌北	4	35	38	3	7	95.21
	札幌モーニング	4	51	48	-3	0	67.70
	札幌西	3	56	54	-2	5	88.68
	札幌西北	3	35	34	-1	5	94.03
	札幌手稲	4	34	35	1	2	91.43
	小計			357	371	14	24
5	札幌東	4	109	108	-1	0	98.53
	札幌清田	3	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	56	53	-3	0	100.00
	札幌真駒内	4	26	27	1	3	98.08
	札幌南	3	74	78	4	0	97.86
	札幌大通公園	3	11	10	-1	2	66.00
	札幌セントラル	3	10	9	-1	5	92.60
	新札幌	4	28	29	1	3	87.63
小計			332	332	0	17	92.59
6	岩内	3	17	20	3	0	81.89
	倶知安	3	37	39	2	5	75.00
	小樽	4	68	70	2	0	88.30
	小樽南	4	74	74	0	1	90.33
	小樽銭函	4	23	21	-2	2	72.00
	蘭越	3	9	9	0	0	96.30
	余市	3	41	43	2	4	84.00
	小計			269	276	7	12

1月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,633人
当月末会員数(女性)	2,686人(114人)
増加会員数	53人
当月平均出席率	85.89%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2010.7.1	2011.1.31	増減	内女性	
7	千歳	4	54	56	2	2	79.55
	千歳セントラル	3	34	33	-1	1	86.90
	恵庭	4	44	46	2	3	86.63
	北広島	2	11	12	1	0	91.67
	長沼	3	20	20	0	3	90.50
	由仁	4	9	9	0	1	66.67
小計			172	176	4	10	83.65
8	えりも	4	22	23	1	1	94.56
	三石	4	14	15	1	2	83.30
	様似	4	23	23	0	1	85.00
	静内	3	74	73	-1	0	92.69
	浦河	3	35	34	-1	2	100.00
	小計			168	168	0	6
9	伊達	3	56	57	1	0	84.21
	室蘭	4	42	43	1	0	80.50
	室蘭東	5	38	39	1	0	83.70
	室蘭北	3	38	38	0	3	100.00
	登別	3	31	32	1	1	84.85
	洞爺湖	4	7	9	2	0	86.20
小計			212	218	6	4	86.58
10	函館	4	82	86	4	0	77.64
	函館亀田	3	35	39	4	4	98.20
	森	4	39	42	3	0	77.80
	七飯	4	14	13	-1	0	91.00
	長万部	3	8	8	0	0	75.00
	函館セントラル	3	29	31	2	3	76.30
小計			207	219	12	7	82.66
11	江差	4	14	13	-1	1	72.73
	函館五稜郭	4	45	43	-2	0	98.08
	函館東	4	44	46	2	6	81.80
	函館北	4	25	24	-1	0	94.56
	北斗	4	17	18	1	1	54.10
	松前	4	3	3	0	0	66.00
小計			148	147	-1	8	77.88
12	白老	3	29	29	0	1	76.00
	苫小牧	3	53	55	2	2	73.02
	苫小牧東	4	25	24	-1	3	89.59
	苫小牧北	3	29	25	-4	1	97.33
	小計			136	133	-3	7
合計			2,633	2,686	53	114	85.89



表紙：豊平公園の片栗の花
撮影：(株)札幌振興公社 今野哲郎



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2510

2010-2011

GOVERNOR

MASATSUGU SASAKI

地域を育み、大陸をつなぐ